

医師会 健康講座

在宅医療と訪問診療

沖内科クリニック（新田町）

沖

良隆



医療は行われる場所により、外来医療、入院医療、在宅医療に分かれています。在宅医療には病院外で行うすべての医療が含まれており、自宅だけでなく施設で行われる医療も在宅医療です。

在宅医療には急な病状変化のときに要請に応じて臨時的に行われる「往診」と、定期的、計画的に行われる「訪問診療」があります。訪問診療では月に1〜4回程度、計画的に医師が患者さんの自宅などを訪問します。

医師による訪問診療では、一般診察、処方箋発行、血液・尿検査、在宅酸素・人工呼吸器管理、経鼻・胃ろうなどの経管栄養管理、褥瘡（床ずれ）処置、膀胱留置カテーテル管理、緩和ケア・終末期医療、在宅での看取りなどが行われています。看護師による訪問看護では前述の処置および、排泄・入浴の介助、清拭、洗髪などが行われています。

在宅医療の最も良い点は、住み慣れた環境で療養ができることです。病院では治療が優先されますが、在宅医療では治療、療養、生活が同時に進行していきます。そのため患者さんは精神的に安定し、落ち着いた療養生活を送ることができます。入院中に険しい顔をしていた患者さんが在宅医療に移った後に診察に行くと、朗らかな表情で迎えてくれることはよく経験します。また、一般的に入院治療よりも在宅医療の方が安くなります。

問題点としては、家族の負担が増えてしまうことです。在宅医療では、訪問診療や看護だけでなく、訪問による歯科診療、歯科衛生指導、リハビリテーション、薬剤指導、栄養指導などが行われています。介護についてもデイサービス、ショートステイなどの各種サービスが提供されており、これらを組み合わせるにより、家族の介

護の負担を減らすことができようになっています。必要と判断したサービスは遠慮せずに、利用を申請してください。在宅医療は在宅に縛られるものではなく、病状に応じて入院の手配や専門医への紹介も行います。

また、急変時に入院中のような素早い対応ができないため、そのことに対する不安を訴える人もおられます。「在宅療養支援診療所」では、緊急時には24時間体制で対応し、必要に応じて臨時往診や入院先の手配などを行います。

入院中の人で退院後に訪問診療、看護などの在宅医療を希望する人は、病院の相談員、看護師またはケアマネージャーに相談ください。自宅で療養中の人は、担当のケアマネージャー、市役所の介護保険担当窓口、訪問看護ステーション、在宅介護支援センター、あるいは訪問診療を行っている医療施設にご相談ください。

南予は急速な勢いで高齢化が進んでいます。患者さんは増えていますが、医師や看護師などの医療従事者は増えていません。急性期病院ではベッドが足りなくなることも少なくなく、そのため長期の入院は困難となってきました。また、国も安定した患者さんは、転院や退院をすすめる政策を行っています。

宇和島地域の在宅医療のシステムはまだ発展段階であり、十分とはいえません。しかしながら、少しずつ在宅医療にかかわる人達や施設は増えてきています。今後、多くの人ができる限り住み慣れた地域や環境で安心して療養できる環境を作るためには、介護、医療、住まい、生活支援、予防が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築することが必要であり、そのために宇和島地区の在宅医療を充実させていくことが重要です。